

自動高圧実験用加熱プレス 90トン 300×300Mm 定盤 圧力精度0.2% 200℃

商品番号: XP62



前書き

300×300mmの加熱定盤を搭載し、0.2%の圧力精度と最高200℃のPID温度制御を実現する90トンの自動高圧実験用プレスをご紹介します。電池電極の製造、高性能ポリマーの成形、半導体パッケージング、複合材の硬化に最適です。今すぐ見積もりをご依頼ください。

[詳細を学ぶ](#)

用途	説明	主なメリット
リチウム電池ドライ電極の製造	精密に制御された熱と圧力の下で、粉末状活物質とバインダーを圧縮して高密度の電極シートに成形します。90トンの容量と均一な温度により、均質な密度と集電体への強固な密着を保証します。	電極密度と導電性を最大化し、電池容量とサイクル寿命の向上につながります。
高性能ポリマーの成形	PEEK、ポリアミド、PTFEシートなどの先進的な熱可塑性樹脂を、最高200℃の温度で圧縮成形します。正確な温度・圧力プロファイルにより、薄く平坦で寸法安定性の高いポリマーフィルムやプレートを製造することができます。	ポイドがなく機械的に強固な部品を、優れた表面品位と再現可能な厚さ公差で製造できます。
半導体デバイスの封止	半導体ダイ、ウェハ、またはパッケージの大面积高圧接合および封止を行います。0.2%の圧力精度により、繊細な電子構造を損傷することなく均一な封止を実現します。	高信頼性マイクロエレクトロニクスに不可欠な、気密で応力を最小限に抑えたパッケージを歩留まり良く製造できます。
熱硬化性複合材の硬化	炭素繊維プリプレグなどの厚みのある繊維強化複合材積層板の、熱支援圧縮硬化を行います。プログラム可能なサイクルにより、最適な架橋を実現するための、制御された加熱、加圧、冷却工程を可能にします。	ポイドを最小限に抑えた、完全に一体化された高強度複合材部品を得ることができます。
焼結研究のための粉末圧縮成形	後続の焼結工程のために、セラミックまたは金属粉末からグリーン成形体を作製します。プレスの高い圧力とプログラム可能な保持時間により、均一なグリーン密度を実現します。これは欠陥のない焼結体を得るための前提条件です。	新材料研究開発や新しい焼結プロセスにおいて、再現性を向上させます。
PTFEフィルムのラミネート加工および焼結	同時に加熱・加圧しながらPTFEフィルムを積層・接合し、厚く均質なシートを作成します。均一な温度分布により層間剥離を防止し、安定した電氣的・機械的特性を保証します。	優れた耐薬品性と絶縁耐力を備えたモノリシックシートが得られます。

パラメータ	仕様	備考
モデル	XP62	—
最大出力	0 - 90 トン (900 kN)	PIDS自動油圧制御
圧力精度	±0.2%	高精度圧力センサ
使用温度範囲	0 - 200 °C (最高200 °C)	中温精密ホットプレス用に設計
温度制御	PIDプログラム可能、7インチタッチスクリーン	多段階プロファイルのプログラミングとモニタリング
定盤加熱出力	3500 W	オーバーシュートのない滑らかで均一な加熱
定盤サイズ	300 × 300 mm	—

パラメータ	仕様	備考
最大面圧	約100 Bar (10 MPa)	高耐久圧縮能力
電源	AC 220 V / 50 Hz、単相；約15.9 A	専用16 Aコンセントが必要
外形寸法	600 × 520 × 650 mm (幅 × 奥行 × 高さ)	ロープロファイル卓上設計
正味重量	350 kg	高耐久設計；十分な床耐荷重支持を確保してください